

神聖復活目覚めの印について

西園寺昌美

いよいよこの神聖復活目覚めの印を世界中の人々にお伝えする時が、天から降ろされました。

世界は破滅に向かって突き進んでいるように見えますが、その一方で、天では世界を救うための鍵が準備され、地上側でもそれを降ろすための条件（時、人、場）が調えられつつありました。そして、その鍵となる印がついに全土を現わしたのであります。

二〇一七年七月、富士聖地にて神聖復活目覚めの印は降ろされ、約三〇〇〇名に伝えられました。まずは、コア（中心核）となる人々が三五〇〇回の印を組み、続いて多くの方にこの印が広がることにより、世界中に勃発する戦争、紛争、自然破壊、人類破滅への道は洗い浄められ、自然と平和への道が切り開かれてゆくことになります。人々は自分が本当は神聖であることを思い出し、他の人の中にも神聖を見出し、人類

の神聖復活は果たされてゆくのであります。

この印は本来、人に見せるものでも、教えるものでも、押しつけるものでもありません。一方的な関係性の上には存在していないのです。全人類が同じ人間として、この共通の印を組むことによって、一人一人が神聖なる絆で全く一つに結ばれてゆくのです。この印を組んでいると、その聖なる絆を体験する瞬間が、必ず訪れるのであります。

そこには民族、宗教、国境の壁や差別や分離などはありません。私たちが現実が存在すると思っている差別や分離は印の光で払い浄められ、長い歴史の中で固く閉ざされてしまつた人類の心に一筋の光が入ります。そして誰もがみな神聖であつたことを次々と自然に思い出してゆく——それがこの神聖復活目覚めの印の大きな働きなのです。

この印を組む人は、ただひたすら無私、無欲、無心になつて宇宙神と一体になり、人類をつなぐ光のリーダーとなります。その神々しく美しい神印は見る人の魂を揺さぶり、「吾は神を見たる」と思わず思わせるほど魅了します。そして心の底から突き上げてくるような「私もまた組んでみたい」という魂の叫びを、その人は体験することでしょう。人に見せつけずとも、教えずとも、押しつけずとも、神聖なる魂の共鳴によって自然にそれが起こるのです。

私が印を受けた方に、「この印を三五〇〇回組んでください」と申し上げるのはそのためです。何度も繰り返し印を組みつけ、自らの印を極めていただきたいのです。

リーダーについて

今までは、社会をよりよい未来へと導くリーダーがこの世界には必要でした。

そして、世界を救う原点である世界平和の祈りを祈りつつけてくださった方々を、私は「リーダーのリーダーのリーダー」と呼んできました。誰からも認められなくとも、誰からも感謝されずとも、そんなことは関係なく黙々と祈りつつける心、忍耐の積み重ね、やらねばという使命感とやりたいという情

熱、人類のために捧げたいという思いを一人一人が持ちつづけた結果、高い波動を受け入れる地球の場が出来上がり、そこに宇宙神の叡智が降りてきて、地球世界感謝行、光明思想徹底行、我即神也、人類即神也の印へとステップが進行してゆきました。誰もそのことを知らなくとも、宇宙から見れば彼らは間違いなく「リーダーのリーダーのリーダー」なのです。私はそのことに深い畏敬を覚えるのであります。

そのようにして高め上げられた場に、より相応しい概念がもたらされました。それが「リーダーシップ」です。これはニッポン・メータさんというインドの平和活動家が提唱した言葉で、これからは一人のリーダーが多くの人を率いるのではなく、上下関係を超越、分離や差別を超越、主義主張や人種民族を超越してみなが平等につながり、少し高い視座から世界が見えるようお互いにはしごをかけあうという概念です。

実は、「神聖復活目覚めの印」の意味するものも、祈りのメンバーが行なってきたことも、すべてリーダーだったので。本来人間は神聖そのもの、崇高そのものなのですから、それを一人一人が自覚し、理解し、責任を持つことによって、自分の神聖を現実に表わし、人のために尽くす喜びと幸せを自分のものとするのがリーダーの本質なのであります。つまり、

外から導いたり導かれたりするのではなく、自分は神聖であるということに自覚して呼び起こし、内から導かれてゆく。また、相手の中にある神聖を信じ、相手が内から導かれていく切っ掛けを提供する。それがラダーなのです。

それぞれが神聖を生きている中で、それぞれが感じている神聖の表現があるはず。だからこそ、神聖なる自分がはしごとなって、他の人を自分より高いところに連れてゆく。自分もいつか誰かのはしごを登らせてもらい、また別の機会には誰かが自分のはしごを登って、それぞれ高いところから世界を見る：：：そうして気づいたらみな高いところにいる。そのような世界をどうやって作っていきけるかが、これからの私たちの生き方であり、世界の主流となるラダーシップのあり方なのであります。

世界は変わります。医療も教育も様変わりするはず。どのような変化が世界に、そして自分自身に起ころうとも、この印があれば自分で自分を導くことが出来るのです。真に自立した意識があれば、病気も困難もすべて自分で光に変えられることを体験していただきたいと思っております。こそが真の生き方です。

皆様、これからともに神聖復活目覚めの印を組んでまいりましょう。この貴重な神縁に心より感謝申し上げます。